



Title	大阪大学人間科学部紀要 第20巻 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学人間科学部紀要. 1994, 20
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/20918
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

◇執筆者紹介

阿部 彰	人間科学部	教授	(教育制度学講座)
平野 正久	"	助教授	(人間形成論講座)
中島 義明	"	教授	(行動学講座)
太田 耕平	"	大学院生	(行動学講座)
白樺三四郎	"	教授	(社会心理学講座)
吉田 光雄	"	教授	(行動系講座外)
志村 剛	"	助手	(行動生理学講座)
八十島安伸	"	大学院生	(行動生理学講座)
坂井 信之	"	大学院生	(行動生理学講座)
山本 隆	"	教授	(行動生理学講座)
菅野 盾樹	"	教授	(人間学講座)
中山 康雄	"	助教授	(人間科学基礎論講座)
梶原 景昭	"	助教授	(人類学講座)
岡本真佐子	"	助手	(人類学講座)

編集後記

人間科学部紀要第20巻を、ここにお届け出来ますことを嬉しく思います。本号にも、人間科学部の性格を反映する、さまざまな研究分野からの力作論文が掲載できました。

平成5年度は、大学全体が教養部改組の問題を中心に激しく動いた年度でしたが、幸い本学部では新しく教養部から教官の方々をお迎えする準備も整い、より一層の研究と教育の充実と発展を期して新学年度に入る状態にあります。これから大学院問題など学部として取り組まねばならぬ課題は多々ありますが、「人間科学」という新しい研究領域を開拓する意欲にはますます強いものがあることを記させていただきたいと思います。

本年度は2名の教授が停年退官を迎えることになりました。ここに両教授の御研究・教育活動の一端として研究業績等を掲載させていただき、心からの敬意を表するものであります。

最後に、本巻の編集業務を行なうに際し、論文の寄稿ならびに編集・刊行にご協力下さった教官および事務局の方々に感謝いたします。 (青木)

紀要編集委員

青木 保

山口節郎 山本 隆

中山康雄 近藤博之

大阪大学 人間科学部紀要 Vol. 20

1994年3月24日発行

編集・発行 大阪大学人間科学部

〒565 大阪府吹田市山田丘1番2号

☎ (06) 877-5111 (大代表)

製 作 行 路 社

〒606 京都市左京区上高野沢渕町14の56

☎ (075) 723-7251

BULLETIN

VOL.20

Contents

Why has Kaneshi Shimomura, a documentary-film producer, been living in audiences' minds even now? <i>Akira ABE</i> ···	(1)
The Present-day Situation and Tasks in the Studies on the “German New Education Movement” in Japan — Concerning the Translation-problem of the “Reformpädagogik” — <i>Masahisa HIRANO</i> ···	(23)
Internal cognitive variables in problem-solving activity · · · · · <i>Yoshiaki NAKAJIMA</i> , and <i>Kohei OTA</i> ···	(49)
The Career and the Scientific Contributions of Fred E. Fiedler As a Pioneer of Leadership Theory and Research · · · · · <i>Sanshiro SHIRAKASHI</i> ···	(71)
Visualized Social Survey Database by SAS · · <i>Mitsuo YOSHIDA</i> ···	(107)
Physiological mechanisms of taste aversion learning · · · · · <i>Tsuyoshi SHIMURA</i> , <i>Yasunobu YASOSHIMA</i> , <i>Nobuyuki SAKAI</i> and <i>Takashi YAMAMOTO</i> ···	(143)
The Fallacy of ‘Natural Signs’ · · · · · <i>Tateki SUGENO</i> ···	(167)
Time and Cognition — Anti-realistic World Model — · · · · · <i>Yasuo NAKAYAMA</i> ···	(185)
Towards democracy as an intercultural system · · · · · <i>Kageaki KAJIWARA</i> ···	(207)
Cultural Co-existence and Economic Development · · · · · <i>Masako OKAMOTO</i> ···	(227)

1994

**The Faculty of Human Sciences
OSAKA UNIVERSITY**